

# 施設での新型コロナ対策のピットフォール ～その1～

## ✕ 2重マスクは不要



2重にしても、性能が単純に足し算になるわけではなく、差はわずか

### サージカルマスク1枚で十分

鼻の部分の隙間がないようにきちんとつけるのが大切（引用:理研チームの実験結果）

二重にすることでずれてマスクとマスクの間にウイルスが入りやすいにも関わらず、守られている「気」になり、油断を招く

N95 マスクは、吸引・吸痰を行う時、患者が激しく咳き込むとき



## 施設での新型コロナ対策のピットフォール ～その2～

### ✕ 靴裏の消毒は不要



基本的に床は、**特別な消毒は不要**

(参考:医療機関における新型コロナウイルス感染症への対応ガイド第5版)

シューズカバーを脱ぐときや、靴の消毒マットを交換するときに、かえって手指が汚染されるリスクがある

### ✕ 足カバーは不要



靴の消毒マット自体が汚染源となる可能性もある

床や靴を消毒することに労力を使うよりも、こまめに手洗い・手指消毒を行う方が効果的

新型コロナウイルスの感染経路は、主に飛沫（ひまつ）、エアロゾルであるため、**口と鼻と眼の保護**を

## 施設での新型コロナ対策のピットフール ～その3～

### ✕ 消毒剤の（空間）噴霧

人がいる環境に、消毒や除菌効果を謳う商品を空間噴霧して使用することは、眼、皮膚への付着や吸入による**健康影響のおそれがあることから推奨されていない**

（引用:厚生労働省HP）

噴霧は消毒液が「点」でつくだけ。擦式消毒剤であるアルコールは擦りこまないと消毒効果を発揮しない

世界保健機関（WHO）は、「室内空間で日常的に物品等の表面に対する**消毒剤の（空間）噴霧や燻蒸をすることは推奨されない**」としており、また、「屋外であっても、**人の健康に有害となり得る**」としている

### ✕ 消毒剤の衣類への噴霧



衣類にアルコールを噴霧しても消毒効果は発揮されない  
衣類への対策としては汚染を防ぐための**ガウンの着用**か、**洗剤で洗濯**する

## 施設での新型コロナ対策のピットフォール ～その4～

### ✕ 頻繁な環境消毒は不要

新型コロナウイルスの感染経路には、飛沫（ひまつ）、接触、エアロゾルがあるが、**接触感染については当初考えられていたよりリスクは低い**といわれている

手すりやドアノブの**頻繁な消毒**、エレベーターのボタンカバーの設置は、**過剰な対応で必要ない**

(引用:新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード)



# 施設での新型コロナ対策のピットフォール ～その5～

**✕** ゾーニングでの  
ビニールシートは不要  
(空気が滞留するため)



引用：大阪府 高齢者施設等での新型コロナウィルスの感染対策における間違いやすいポイント集

グリーンゾーンが風上、  
レッドゾーンが風下になる  
ように空気の流れを作る  
グリーンゾーンに陽性者が  
出てきてしまう場合は、簡  
易のバリエードを置くなど  
して対応

**○** 飛沫感染予防は換気が大事！！

開けられる窓が2か所以上ある場合



対角線上に窓を開ける  
入口側を小さく、出口側  
を大きく開けると効果的

開けられる窓が1か所しかない場合



部屋のドアを前回にし、窓  
又は換気扇に向かってサー  
キュレーターの風を送る

窓やドアが1か所しか開けられない場合



窓に向かってサーキュレーター  
の風を送る  
部屋の奥にもサーキュレーター  
を設置すると効果的



台所用の換気扇を回し、  
換気扇からできるだけ離  
れた窓を送る

引用：新型コロナウイルス感染症対策分科会令和4年7月14日  
感染拡大防止のための効果的な換気について

✕ 陽性者への対応はつねにフルPPE着用



様子を見るだけ、配膳するだけ  
⇒ フルPPE着用の必要はない

患者や患者の周辺環境に身体が密着する場合は、接触/汚染が予想される部位に応じてガウンまたはエプロンを着用します  
(引用:医療機関における新型コロナウイルス感染症への対応ガイド第5版)